

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせまします。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです。あなたも一緒に

◆次回の発行は、10月17日号です。

今週の紙面

- 2面 女性ニュース/声明
- 3面 読者のページ/まんが/俳句
- 4面 健康体操/ホットライン
- 5面 憲法講座/ホットライン
- 6面 農に生きる/私のまちですすむ大軍拡/時事・クローズアップ
- 7面 新婦人の活動/主張/母の歴史



東京・江東区
小幡千恵子 (78)

新婦人

「秋の行動」

軍事ではなく暮らし、防災、社会保障、教育に



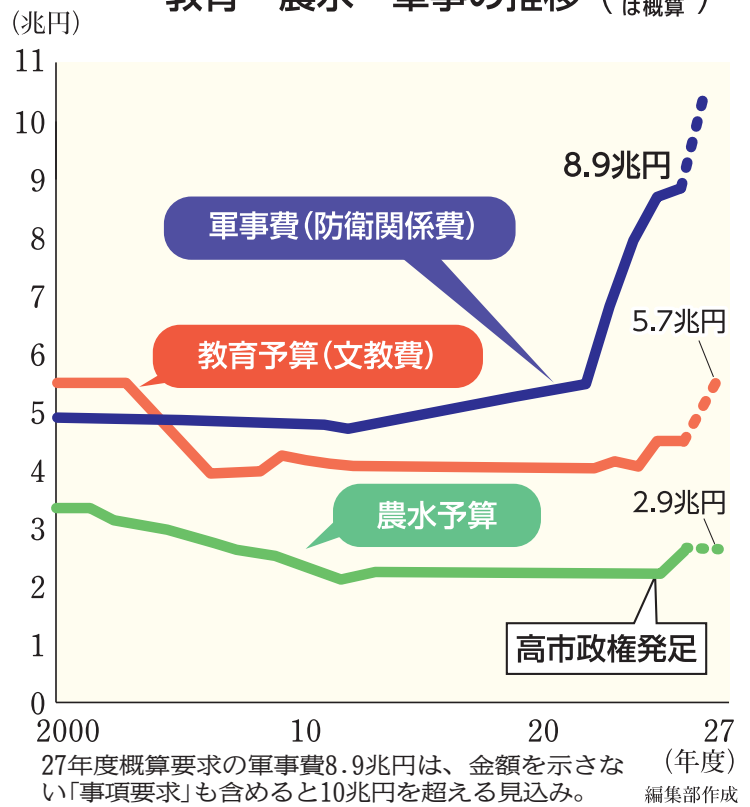
ミサイルより防災など、様々な要求を掲げて(兵庫・垂水支部)

2027年度予算案の概算要求では、軍事費(防衛費)が過去最大を更新しました。新婦人は、「軍事費の大幅増ではなく、暮らし、社会保障、教育を守る予算を」と、「秋の行動」署名にとりくみます。

物価高から暮らしを守れ

暮らしが大変になる中、来年度の国の予算はどうなるのでしょうか。2027年度の概算要求は総額143兆円、過去最大です。高市首相がすすめる「強く豊かな日本」投資枠に上限を設けなかったことで、大幅にふくらみました。その中で、軍事費が約8兆9000億円で過去最大、他分野の予算に比べ大幅増となつていきます(グラフ)。さらに、新しい成長戦略として、AI(人工知能)や半導体、防衛産業など軍事関連の分野への投資を位置づけています。新婦人は、いま増やすべき予算は軍事費ではないとして、「秋の行動」署名の項目の一つめに「軍事(防衛)予算の大幅増額をやめること」を求めています。

政府予算における教育・農水・軍事の推移 (27年度は概算)



防災、気候危機対策こそ

7月の熊本地震、その後各地で豪雨が相次ぎ、「どこに住んでいても安

安で、物価高が止まらず、どの世論調査でも、政府に求めることのトップは物価対策です。しかし、高市政権の物価対策は、食料品のみ2年間限定で消費税を1%に減税するというもの。外食産業や農家には負担増になるほか、食料品以外にも価格が高騰していることで、物価対策としての効果は期待できません。何より財源がいまいで、2年後には1%から8%へと大増税が待っています。署名では、消費税を一律5%引き下げるよう求めています。

心でできない」と、防災対策の強化を求める声が高まるなか、11月に防災庁が発足します。しかし、その概算要求額はわずか651億円です。熊本地震では、10年前の地震の教訓が生かされず劣悪な避難所の実態が明らかになりました。間仕切りや段ボールベッドが速やかに届かなかった背景には、自治体職員が減らされてきたことが指摘されています。避難所にもなる公立小中学校体育館のエアコン設置は新婦人が運動してきましたが、全国で33%(26年5月)にとどまっています。署名では、体育館へのエアコン設置とともに、被災者生活再建支援金の大幅引き上げ、正規の公務職員を大幅に増やすこ

【9月大型連休期間のしんぶんの発行について】
9月26日号は「9月26日号と10月3日号の合併号」とします。表記の期日より遅くなり申し訳ありませんが、10月3日(土)までにお手元に届きます。

新日本婦人の会中央本部

社会保障の拡充を

署名では、医療や介護への国の負担割合を引き上げ、医療介護保険料を引き下げること、介護報酬の大幅底上げと介護保険サービスの拡充を求めています。高市政権は、自民党と日本維新の会の連立合意にもとづき、医療、介護の分野で「現役世代の保険料を減らす」としながら、負担増や給付抑制をすすめるようとしています。(2面囲み)

〈2面へ〉

新婦人「秋の行動」署名

「軍事費の大幅増ではなく、暮らしを守る予算を」と、3つの請願署名にとりくみます。来年2月(予定)に、国会へ提出します。

- ①税金の使い方の見直し
- ②暮らしと社会保障予算の大幅な増額
- ③教育・子ども関連予算の大幅増額、公教育を守る

◆署名用紙はこちらから→

